

## 第1回男鹿ゆるやかトーク



### ○オガーレの活用について

7月1日にオープンする男鹿市複合観光施設オガーレをどう利用するか。

市民も利用できる「交流ホール」についての意見が多く出ました。

- ・油絵などの芸術の展示を行う
- ・交流ホールでのイベントを企画してはどうか  
例) なまはげ問答、芸能イベント、クラフト展など
- ・特定の日（男鹿ロックなどのイベント時）の夜間営業
- ・海産物などの加工実演イベントを行う
- ・地元からも愛される施設に

### ○情報提供について

オガーレの情報提供コーナーについての意見も交わされました。

- ・観光施設などの情報だけでなく、文化的な資料も置く  
例) 菅江真澄の資料、男鹿・大潟ジオパークの説明資料など
- ・自転車向けモデルコースのパンフレットを作成する  
例) できるだけ安全に船川から増川へ抜ける道を紹介
- ・季節に合った体験観光情報を案内するデスク（コンシェルジュ）があるとよい

### ○観光に来やすい環境づくりについて

テーマはオガーレに関することでしたが、観光全般についてのご意見もたくさんありました。

- ・トイレをきれいにする  
例) 全個室洋式トイレ化、清掃の徹底
- ・駅から先のアクセス整備  
例) レンタカーを借りられる場所をつくる
- ・徒歩で観光できるまちづくり  
例) 船川の街に古民家利用の博物館をつくる
- ・その場で買って食べられるような魚介類の焼き場をつくる

- ・建設される避難塔に普段使いできる要素（遊具機能など）をもたせ、誘客を図る。
- ・バス会社と一緒に観光地ツアーを企画

### なまはげに関連して

男鹿の誇る重要無形民俗文化財「なまはげ」。

なまはげに関する観光のアイデアもありました。

- ・年に1回なまはげ演舞大会を開催し、なまはげを継承していくモチベーションにする。
- ・真山伝承館のなまはげ問答を観光客相手に実施してはどうか
  - 見るだけでなく、体験する観光へ
- ・イケメンがなまはげを着て男鹿をPRする
  - 敵ついなまはげと甘いマスクのイケメンのギャップで女性客の心をつかむ

### その他

- ・男鹿で暮らす人々と観光客との交流がほしい
  - 市民の観光に対する意識づくり
- ・男鹿の自然を生かす
- ・地の利を生かした開発を